

平成 27 年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名 西東京市立谷戸小学校

校長名 野崎 信行

学校教育目標

- 元気で、ねばり強い子
- 進んで学び、行動する子
- 心の豊かな子

学校の特徴

- 1 質の高い授業づくりに努め、学力向上を図る。
全教員が問題解決的な学習形態を学び、言語活動を大切にする授業づくりを研究してきた。さらに研究を進め、ユニバーサルデザインの考えに基づいて、「全員が楽しくわかる・できる」授業づくりに努めるとともに、谷戸ゼミや研修夕会の充実を図り、児童の確かな学力の定着及び学ぶ意欲の向上を図る。
- 2 児童の読書活動を推進する。
読書旬間・朝読書・保護者による読み聞かせ等の読書にかかわる活動を進めてきた。読書環境を充実させ、家読書も含め、児童の読書活動をより一層推進する。
- 3 保護者とともに健康教育を推進する。
児童の体力の低下や二極化の傾向がある。また、食事・睡眠・テレビやゲームなどの児童を取り巻く環境が直接子供たちへの心と体の健康に深く影響している。体力向上・食育指導・生活習慣の改善等、保護者との連携をもとに健康教育を進める。
- 4 一人一人を大切にしたい、人権教育及び特別支援教育を推進する。
人権教育を推進するとともに、いじめや体罰の根絶を目指す。また、せせらぎ学級は勿論、通常学級にも特別に支援が必要な児童がいる。個別指導計画・個別支援計画をもとに児童理解を深め、支援の在り方や進め方を校内委員会で協議し、関係機関との連携のもと自立支援へ向け、具体的な方策を立てて取り組む。
- 5 地域とともに安心・安全な開かれた学校づくりに努める。
地域・保護者・学校のネットワークを強化し、防災教育及び安全教育を推進すると共に児童虐待防止に努める。学校が地域と数多くかわり、積極的に貢献し、さらなる信頼・協力関係を深める。

目指す学校像 (学校像、児童・生徒像、教師像)

【目指す学校像】

- ・ 子供の瞳が輝き、声が響き合う、幸せ追究の学校

【目指す児童像】

- ・ 将来を夢見て、よく考え、主体的に協同する健康な児童

【目指す教師像】

- ・ 創意工夫に満ちた授業の充実に努め、子供の心に灯をともし人間力ある教師

学校経営の目標

1 中期経営目標（中間的課題）

【学力の向上】

（１）基礎・基本の定着とともに、分かる授業・質の高い授業の実現に努める。

【体力の向上】

（２）丈夫な体とたくましい心を育てる。

【人権教育】

（３）人権教育を充実させ、いじめや体罰の根絶に努める。

【特別支援教育】

（４）一人一人を大切にしたい、特別支援教育を推進する。

【地域との連携】

（５）地域に開かれた学校づくりを行う。

2 短期経営目標（１に基づく本年度の重点目標）

（１）基礎・基本の定着を図り、自ら学ぶ力を育てる。

（２）健康教育を推進する。

（３）体力の向上を図る。

（４）人権教育を充実させ、豊かな人間性の育成を図る。

（５）特別支援教育の充実に努める。

（６）地域と密着した安心な学校と安全教育の充実に努める。

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

（１）① 全員が考えをもち、考えを伝え合う話し合いや発表する場を設定する。

② 読書週間・旬間、朝読書を実施し、読書に親しむ子供を増やす。

③ 全員が各学年で学ぶ漢字の読み書きができるようにする。

④ 東京ベーシックドリルを活用して基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。

⑤ 全教員が年間１回以上の授業研究をととして、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた、全員が「わかる、できる」授業づくりの研究を進める。

（２）⑥ 生活振り返り週間を年５回設定し、児童の生活習慣の改善を図る。

⑦ 食育の年間指導計画をもとに、各学年に応じた食育指導を推進する。

（３）⑧ 体育の授業を中心に、校庭の芝生も生かし、運動好きの児童を育成するとともに、体力テストの結果から重点項目を定め、児童の体力向上を図る。

⑨ 学期ごとに体力ジャンプアップ等を設定するとともに、外遊びを日常的に行わせ、児童の体力向上を図る。

（４）⑩ あいさつ・感謝の言葉や言葉遣いを指導し、相手を大切にする心を育てる。

⑪ より良い学級生活を目指して、児童に「めあて」をもたせ、各学期半ばで各自が振り返ることを大切にしながら、協同する心を育成する。

⑬ アンケート・面談で児童理解に努め、いじめや体罰を根絶する。

⑭ 伝統・文化を含めた様々な体験活動をととして、豊かな心を育てる。

（５）⑮ 個別指導計画・個別支援計画をもとに、児童一人一人を大切にしたい教育支援を進める。

（６）⑯ 地域・保護者と協力して学校の安全管理と防災教育・安全教育を推進し、防災や安全の意識啓発を図る。

⑰ 市民まつり・育成会等地域行事等に関わったり、地域の教育力を活用したりすることで、地域の活性化に努める。

⑱ 学校メール・学校ホームページによる最新情報の発信及び、学校・学年・学級・専科・研究から通信を定期的に発行する。